

無電柱化の効果

無電柱化の推進により「景観・観光」「安全・快適」「防災」の面で効果が期待できます。

景観・観光



金沢らしい個性と魅力ある良好な景観の形成

電柱や上空に張り巡らされた電線類が無くなることで、まちなみがすっきりします。また、歴史的なまちなみを強調したり、観光地や商店街の特徴的な景観創出の基盤となります。



安全・快適



誰もが安全で快適に移動できる環境の形成

電柱がなくなること、道路が広く利用できます。また、車イスやベビーカーを利用する人にとっても、通行空間の機能が向上します。



防災



災害による被害を最小限に食い止めることができるまちづくり

災害（地震、台風等）が発生した際、電柱の倒壊等による道路の寸断を防止します。



ただし、無電柱化整備によって、架空線や電柱が無くなる一方、歩道や緑地等の一面に地上機器の設置が必要になります。地上機器は、電線類のメンテナンスに必要不可欠なものです。

無電柱化の推進に向けた取り組み等

コスト縮減が図られた整備例



犀川左岸・桜坂

電線管理者による単独地中化で埋設されていた管路（既存ストック）を活用することで、工事費などの軽減を図ることができました。犀川や都心の眺望もすっきりと見渡せるようになりました。

広報・普及啓発の取り組み例



写真パネル展

毎年11月10日の無電柱化の日には、これまでに無電柱化を実施した路線の写真をパネル展示しています。このようなパネル展は、市役所のほか、金沢大学、金沢工業大学、金沢市立工業高校などで、出張展示を行ってきました。

お問合せ先

金沢市 土木局
道路建設課 無電柱化推進室

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL. 076-220-2314
E-mail: mudentyu@city.kanazawa.lg.jp

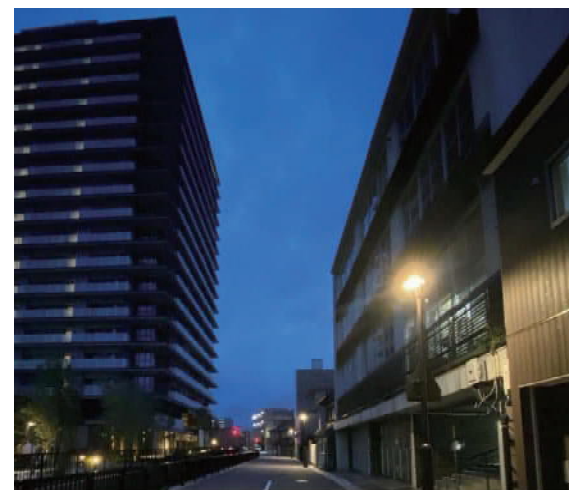
金沢市 無電柱化推進室

検索

令和5年3月改定・印刷

無電柱化による 魅力あふれるまち・金沢

～金沢方式無電柱化の推進に向けて～



※金沢方式無電柱化推進実施計画を基に作成

金沢市

無電柱化の手法

無電柱化には様々な手法があります。当該路線の道路構造や沿道の土地利用、建物状況などの条件に応じた手法を選定していきます。

金沢方式で無電柱化を推進します

金沢市では、昭和61年（1986）から、美しい景観の創出や安全で快適な歩行空間の確保などを目的として、国、石川県、電線管理者の協力を得て、幹線道路や文化的景観地区、商業地区などを中心に無電柱化整備を行ってきました。

その後、平成21年（2009）1月19日に「金沢市歴史的風致維持向上計画」の第1号認定を国から受けたことなどを踏まえ、金沢のまちなみの特徴を活かし、様々な整備手法を取り入れた「金沢方式無電柱化推進実施計画」を策定し、金沢を象徴するまちなか区域（860ha）を重点区域に位置づけ、金沢方式による無電柱化を進めています。

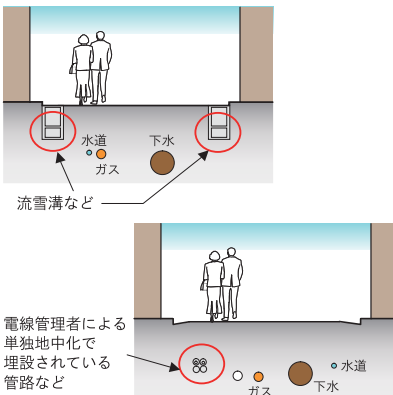
重点区域内の無電柱化を実施します

3つのまちづくりの視点から、重点整備エリア内の路線と緊急輸送道路の無電柱化を進めていきます。

景観・歴史 まちづくり	古き良きまちなみを保全し、歴史あるまちの品格を高め、愛着と誇りの持てるまちなみをつくる	【対象エリア】 金沢城周辺、兼六園・小立野周辺 ひがし茶屋街・卯辰山麓周辺、 尾山町・玉川町周辺、寺町周辺
観光・商業 まちづくり	都市景観の向上を図り、金沢らしさを象徴するまちなかの活力とにぎわいを創出し、歩きたくなるまちなみをつくる	【対象エリア】 金沢駅周辺、片町・香林坊周辺 尾張町周辺、高岡町・玉川町周辺
安全・安心 まちづくり	災害発生時の電柱倒壊などによる二次災害防止と緊急輸送道路の常時通行を目指し、安全安心なまちをつくる	【対象箇所】 緊急輸送道路

『無電柱化による魅力あふれるまち・金沢』

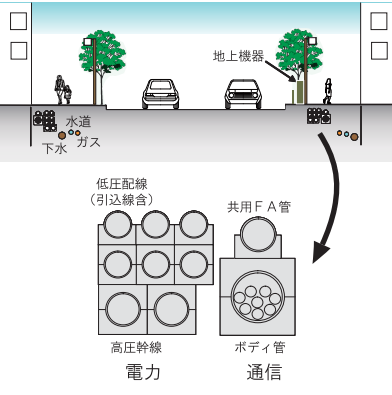
既存ストック活用
～地中の資源を有効活用～



ライフライン等の空きスペース（流雪溝や通信管路など）を活用して、電線類を入線する方法

条件 道路整備で不要となる側溝があるなど利用できるストックがある箇所

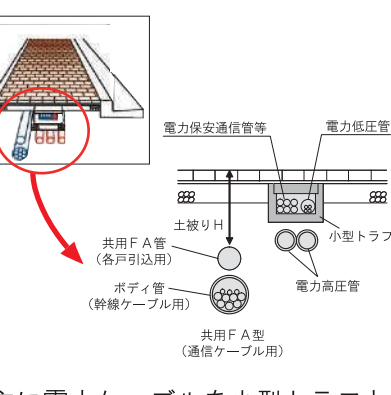
完全地中化方式
～従来からの方式～



電力・通信の幹線ケーブルを地中化し、変圧器等の機器を地上に設置する方法

条件 電線管、ハンドホールなどを埋設できるスペースがあり、地上機器を設置する場所が確保できる箇所

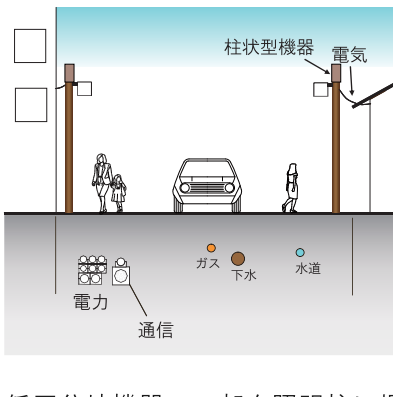
浅層埋設(小型トラフ方式)
～施設をコンパクトにして土木工事費用を削減～



主に電力ケーブルを小型トラフと呼ばれる機器におさめ、従来より浅い土被りで埋設する方法

条件 直線的な道路構造で、電力の需要が少ない歩行者専用道路や交通量が極めて少ない道路

ソフト地中化(柱状型機器)
～地上に機器を置かない～

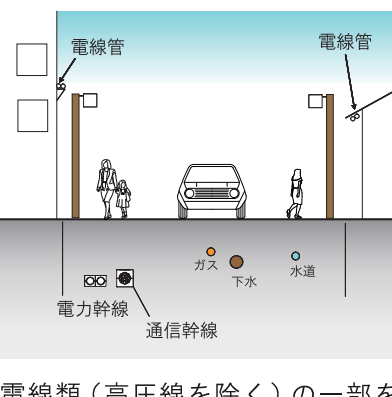


低圧分岐機器の一部を照明柱に埋め込む、または照明柱に開閉器・変圧器を添架する方法

条件 機器を埋め込んだり、添架する共用柱の設置が可能であること

適所 歩行者専用の細街路など地上機器設置が困難な箇所

軒下配線(壁面配線)
～歴史的まちなみなどに効果的～

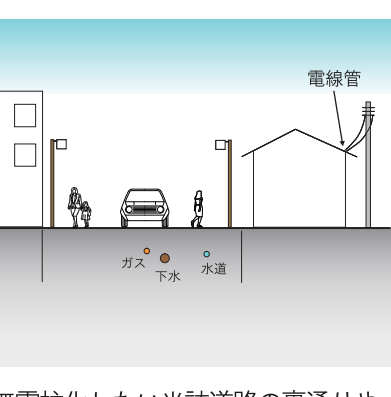


電線類（高圧線を除く）の一部を軒下や壁面に設置する方法
電力等の附属機器は別途、地上型もしくは柱状型により設置する

条件 家屋が接続しており、軒の高さがおおむね一緒

適所 歴史的まちなみのある地区
重要伝統的建造物群保存地区など

裏配線・脇道配線
～最も低コストな手法～



無電柱化したい当該道路の裏通りや、脇道から電線を配線する方法
裏通り等に架空電線類が残る

条件 家屋の裏側も道路などの公共空間に面し、配線・保守管理が可能なこと

適所 並行する裏通り、脇道がある地区



金沢方式無電柱化 金沢のまちなみの特徴を活かした複合型無電柱化の推進



地域の皆様のご理解・ご協力を得ながら、無電柱化事業を推進していきたいと考えています。

